

市宮池 (いちのみやいけ)



諸元

貯水量	196	千m ³
満水面積	8.2	ha
受益面積	16.8	ha
堤高	9.7	m
堤長	343	m

高松市の仏生山町一塩江町を結ぶ、通称ガソリン道を塩江方面へ向かうと、香川町浅野八王子地区の辺りで市宮池の堤頂と交わります。近くに小学校や八王子神社があることから、池の周りには通学中の小学生や散歩をしている人が多く見られ、八王子池とも呼ばれるなど、地域住民から愛されてきました。

300年以上前に築造されたとされる市宮池は、一説によると、一宮の田村神社付近の田地が荘園であった当時、水不足を解消するために、浅野から船岡、寺井を通して、一宮まで水を引くために築かれたため、市宮池と名付けられたとも言われています。

その後何度か改築されましたが、近年では平成8年度から県営ため池等整備事業による改修工事が行われ、5年の歳月と総事業費2億7,785万円を費やし、本堤・副堤の補強、取水施設の改修が完了しました。堤体西隅に建てられた改修碑でもその詳細を知ることができます。

この改修碑から道を挟んだ北側には「八王子地蔵」が建っています。かつて昭和20年ごろまでは、市宮池は地域の子供たちの遊び場となり、多くの子供たちがこの池で泳いでいたそうですが、反面、いくつかの尊い小さな命が市宮池で消えました。そこで八王子地区の人たちが発起人となり、「八王子地蔵」を建立しました。いつも新しい花が手向けられており、毎年8月23日には八王子地区の人たちによって僧侶を招き、地蔵祭りが行われています。



市宮池



八王子地蔵